

特定行為研修の内容について

看護師が手順書により特定行為を行うには、理解力、思考力、判断力に加え高度かつ専門的な知識・技術が必要となります。そのため、以下のような研修内容および研修時間が決められています。

共通科目

全ての特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための研修

共通科目の合計時間数：315時間

共通科目の内容	時間数
臨床病態生理学	45
臨床推論	45
フィジカルアセスメント	45
臨床薬理学	45
疾病・臨床病態概論	60
医療安全学	30
特定行為実践	45
合計	315

区分別科目

特定行為区分ごとに必要とされる能力を身につけるための研修

区分ごとに設定された時間数：15～72時間

(例)

特定行為区分	時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	22
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	21
創傷管理関連	72
創部ドレーン管理関連	15
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	36
感染に係る薬剤投与関連	63
外科術後病棟管理領域パッケージ	別紙参照



共通科目は、特定行為を行う上で、基盤となる科目となり、修了後、区分別科目の履修に入ります。当センターの特徴は、医師と特定行為研修修了看護師から講義・演習の指導が受けられることです。また、特定行為では、領域別に実施頻度の高い特定行為をパッケージ化して研修することを可能としています。そこで、当センターでは「外科術後病棟管理領域パッケージ」を推奨しています。

外科術後病棟管理領域パッケージ

特定行為区分	特定行為	外科パック	共通	行為毎	合計時間
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	10	12	22
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	15	12	39
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○		12	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	×		12	
	人工呼吸器からの離脱	×		12	
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	○	12	9	21
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	○	12	9	30
	胸腔ドレーンの抜去	○		9	
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	○	12	9	21
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	○	9	9	18
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	○	9	12	21
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	○	6	9	15
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	12	9	21
	橈骨動脈ラインの確保	×		9	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	12	12	24
	脱水症状に対する輸液による補正	×		12	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○	12	9	21
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○	15	9	33*
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	×		9	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	×		9	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○		9	*に含む
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	×		9	

: 外科術後病棟管理領域パッケージで実施する特定行為